

経営比較分析表（令和2年度決算）

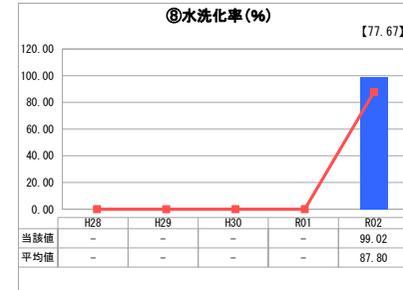
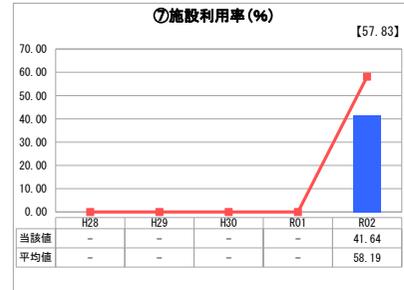
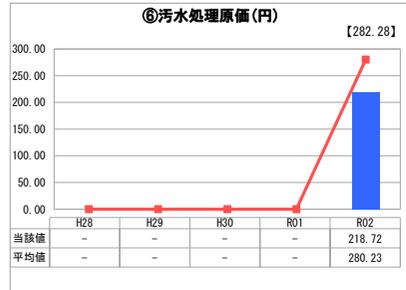
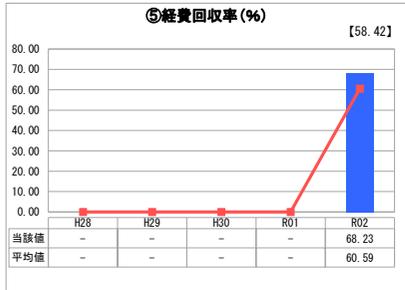
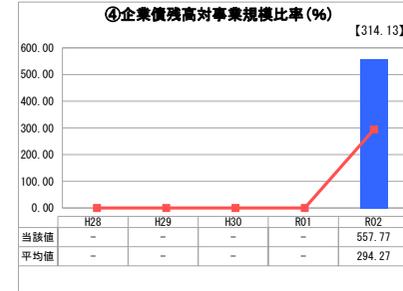
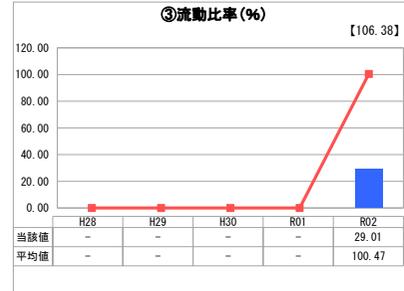
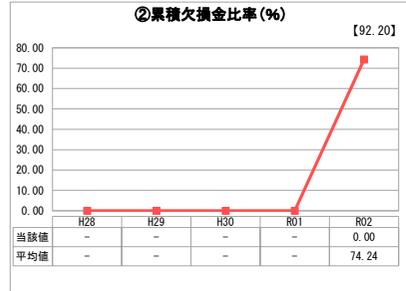
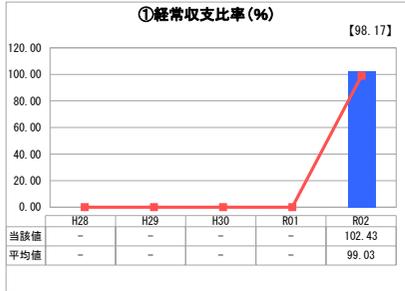
岡山県 新見市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	39.79	14.41	100.00	3,270

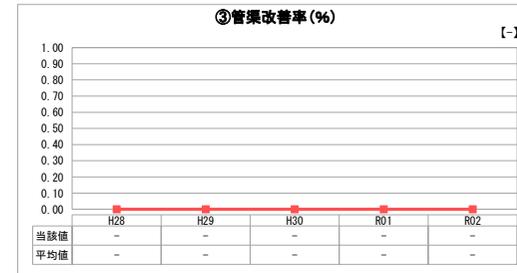
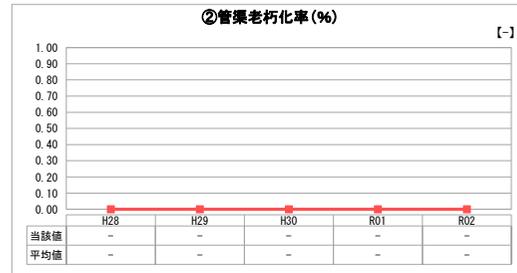
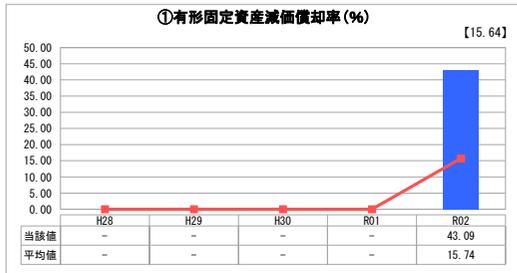
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
28,396	793.29	35.80
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,064	211.85	19.18

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和2年度から地方公営企業会計に移行したことに伴い、令和元年度以前（法非適）の数値はこの分析表に記載されていません。

①経常収支比率は、100%を超え単年度収支は赤字となっており、累積欠損金も発生していない。

②流動比率は、一般会計からの繰入金で対応しているため低い数値となっている。

③企業債残高対事業規模比率は、全国平均や類似団体平均を上回っているが、起債残高が多額であり営業収益で不足する分は一般会計繰入金で賄っている。

④経費回収率は100%には満たないが全国平均や類似団体平均よりは高い状況である。汚水処理経費に対する使用料収入の不足分を一般会計からの繰入金で賄っている状況であることや流動比率が低いことから、より慎重な財政運営が必要となっている。

⑤汚水処理原価は、長期前受収益化分や汚水処理費に算定されない高資本費が多額であるため類似団体や全国平均より低くなっている。

⑥施設利用率は、全国平均や類似団体平均より低く人口減少や高齢化の傾向が高い地域であり有収水量が少なくなっていることが要因である。

⑦水洗化率は平均値より高いが、人口減少や節水意識の向上もあり、計画流入量に達していない。経営改善を図り、使用料改定を検討する必要がある。

2. 老朽化の状況について

浄化槽設置基数は年々増加しており、古い設備の浄化槽プロア等の故障が予想され、計画的に更新を行っていく必要がある。

全体総括

施設利用率及び流動比率が100%に達していないことから、より慎重な財政運営が必要となっているが、事業の性質、地域の特性などを考慮するとコスト縮減などでは大幅な改善は見込めないため、適正な下水道使用料の改定を行うことが必要である。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。